

2017年度

私費外国人留学生入試
学生募集要項



愛媛大学

目 次

1. 募集人員	1
2. 出願要件	1
3. 出願手続	2
(1) 出願期間	2
(2) 出願書類等	2
(3) 検定料の返還	3
(4) 出願方法	3
(5) 出願書類等送付先	3
(6) 受験票等の発送	3
4. 選抜方法	4
5. 個別学力検査等の配点	7
6. 個別学力検査等の採点・評価基準及び正解・解答例又は出題意図の開示時期	8
7. 合否判定基準	1 1
8. 試験日時及び試験場	1 1
9. 合格者発表	1 1
10. 入学手続及び初年度の諸経費等	1 2
11. 注意事項	1 3
12. 入学試験個人成績の開示	1 3
13. 個人情報の取扱い	1 4
14. 学生募集要項（出願書類等を含む。）の請求方法	1 4

※ 「2017年度渡日前入学許可制度による私費外国人留学生入試学生募集要項」は別に作成しています。愛媛大学ホームページ (<https://www.ehime-u.ac.jp/>) でご覧ください。

1. 募集人員

学部	学科・課程等		募集人員	
法文学部	人文社会科学「昼間主コース」		若干人	
教育学部	学校教育教員養成課程	初等教育コース	幼年教育サブコース 若干人	
			小学校サブコース 若干人	
	中等教育コース	言語・社会教育系	国語教育専攻	若干人
			社会科教育専攻	若干人
			英語教育専攻	若干人
		自然科学系	数学教育専攻	若干人
			理科教育専攻	若干人
			技術教育専攻	若干人
		芸術・生活健康系	音楽教育専攻	若干人
			美術教育専攻	若干人
		保健体育専攻	若干人	
	家政教育専攻	若干人		
	特別支援教育教員養成課程		若干人	
理学部	数学科		若干人	
	物理学科		若干人	
	化学科		若干人	
	生物学科		若干人	
	地球科学科		若干人	
医学部	医学科		若干人	
	看護学科		若干人	
工学部	機械工学科		若干人	
	電気電子工学科		若干人	
	環境建設工学科	土木工学コース	若干人	
		社会デザインコース	若干人	
	機能材料工学科		若干人	
	応用化学科		若干人	
	情報工学科		若干人	
農学部	食料生産学科		若干人	
	生命機能学科		若干人	
	生物環境学科		若干人	

(注) 出願は、1つの学部・学科等に限りません。

2. 出願要件

次の(1),(2),(3)の全てに該当する者

- (1) 日本国籍を有しない者
- (2) 出入国管理及び難民認定法の定めるところにより、大学入学に支障のない在留資格を有する者又は取得できる見込みの者で、次の各号のいずれかに該当するもの
 - ①外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び平成29年(2017年)3月31日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
(注)「これらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの」は、次のとおりです。
ア 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む。)に合格した者で、平成29年(2017年)3月31日までに18歳に達するもの
イ 外国において、日本の高等学校に対応する学校の課程を修了した者〔これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む。)に合格した者を含む。〕で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了し、平成29年(2017年)3月31日までに18歳に達するもの
 - ②スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で、平成29年(2017年)3月31日までに18歳に達するもの
 - ③ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で、平成29年(2017年)3月31日までに18歳に達するもの
 - ④フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で、平成29年(2017年)3月31日までに18歳に達するもの
- (3) 独立行政法人日本学生支援機構が平成28年(2016年)6月又は11月に実施する日本留学試験を受験している者
(注) 医学部看護学科志願者は、TOEFLを受験していること。

3 . 出願手続

(1) 出願期間

2017年1月23日(月)～2月1日(水)〔2月1日(水)の日本国内消印有効〕

願書の受付は郵送のみとし、期間内に配達されたもの及び2月2日(木)以降に配達されたもののうち、2月1日(水)以前の日本国内発信局消印があるものを受け付けます。

直接持参しても受理しないので注意してください。

(2) 出願書類等

下記の書類等を一括して送付してください。

書 類 等	摘 要
入 学 志 願 票	本学所定の用紙に必要な事項を記入したもの
受 験 票 ・ 写 真 票	本学所定の用紙に必要な事項を記入したもの
写 真	上半身、無帽、正面向きで3か月以内に撮影したものを、写真票及び受験票の写真欄に貼ってください。(縦4cm×横3cm, 白黒又はカラー)
卒業(見込)証明書	外国の最終学校(日本の高等学校に対応する学校)発行のもの(2 出願要件の(2)の①に該当する者のみ)
成 績 証 明 書	2 出願要件の(2)の ①に該当する者: 最終学校(日本の高等学校に対応する学校)の成績証明書(写しは不可) ②に該当する者: 国際バカロレア資格証書(International Baccalaureate Diploma)の写し及び国際バカロレア最終試験科目の成績評価証明書 ③に該当する者: 一般的大学入学資格証明書(Zeugnis der allgemeinen Hochschulreife) ④に該当する者: バカロレア資格証書(Diplôme du Baccalauréat de l'Enseignement du Second Degré)の写し及びバカロレア資格試験成績証明書
検定料払込証明書	検定料 17,000 円を最寄りの郵便局又はゆうちょ銀行(他の金融機関からの振り込みはできません。)の窓口から払込後(ATMは使用しないでください。), 日附印を押した「振替払込受付証明書(大学提出用)」を「検定料払込証明書」に貼って提出してください。 なお、払込済の検定料は次頁(3)の返還請求できる場合を除き、返還しません。
住 民 票 の 写 し	市区町村長発行のもの(住民登録をしていない者は、パスポートのコピー)
志 願 者 名 票	本学所定の用紙に必要な事項を記入したもの
返 信 用 封 筒	本学所定の封筒に志願者のあて先を明記(必ず郵便番号を記入すること。)し、372 円分の切手を貼ったもの
実 技 検 査 票 (教育学部志願者のみ)	本学所定の用紙に必要な事項を記入したもの (学校教育教員養成課程初等教育コース小学校サブコースにおいて音楽実技を選択する志願者、または、学校教育教員養成課程中等教育コース音楽教育専攻及び保健体育専攻を志願する者のみ)
TOEFL スコア レポ ー ト (Score Report) (医学部看護学科 志願者のみ)	出願時に、TOEFL 試験実施機関(ETS: Educational Testing Service)から志願者あてに送付された、TOEFL イグザミネー スコア レポート(Examinee Score Report)の原本を提出してください。提出されたTOEFL イグザミネー スコア レポートの原本は、本学で確認後、速やかに返送します。ただし、2年間の有効期限を超えた成績の使用は認められません。 なお、可否の判定には、TOEFL オフィシャル スコア レポート[Official Score Report (ETS から本学へ直接送付されるもの)]を必要としますので、TOEFL 受験時に、ETS から愛媛大学へTOEFL オフィシャル スコア レポートを送付してもらうための手続き(スコア送付リクエスト)を必ず行ってください。その際には、愛媛大学の指定校番号(DI コード)7849(学部別の番号はありません。)を必ず記載してください。 (注) 志願者から提出されたTOEFL イグザミネー スコア レポートと、ETS から本学へ送付されたTOEFL オフィシャル スコア レポートの内容が相違する場合には、可否判定の対象外として取り扱います。

※ 出願書類等のうち外国語で記載された証明書等には、必ず日本語訳を添付してください。

なお、科目名、成績評価等が符号又は略字等により表示されている場合は、その説明を添付してください。

(3) 検定料の返還

次に該当した場合は納入済みの検定料を返還します。

- ① 検定料を納入したが、出願しなかった場合
- ② 検定料を誤って二重に納入した場合又は誤って所定の金額より多く納入した場合
- ③ 出願書類等を提出したが、出願が受理されなかった場合

返還請求の方法

上記①又は②に該当した場合は、下記の連絡先に連絡してください。「検定料返還請求書」を送付しますので、必要事項を記入の上、郵送してください。

上記③の場合は、出願書類等返却の際に「検定料返還請求書」を同封しますので、必要事項を記入の上、下記の連絡先に郵送してください。

連絡先 〒790-8577
松山市道後樋又10番13号
愛媛大学財務部財務企画課出納チーム
電話 089-927-9074, 9077
E-mail : suitou@stu.ehime-u.ac.jp

(4) 出願方法

出願書類等を取りそろえて、必ず本学所定の封筒を使用し、「速達・簡易書留郵便」で出願する学部の入試係（下記(5)出願書類等送付先参照）に送付してください。

(5) 出願書類等送付先

学 部	送 付 先	所 在 地	電 話
法 文 学 部	法文学部入試係	〒790-8577 松山市文京町3番	089-927-9221
教 育 学 部	教育学部入試係	〒790-8577 松山市文京町3番	089-927-9377
理 学 部	理学部入試係	〒790-8577 松山市文京町3番	089-927-9546
医 学 部	医学部入試係	〒791-0295 東温市志津川	089-960-5175
工 学 部	工学部入試係	〒790-8577 松山市文京町3番	089-927-9697
農 学 部	農学部入試係	〒790-8566 松山市樽味3丁目5番7号	089-946-9648

(6) 受験票等の発送

受験票等は、2017年2月10日(金)頃発送します。

なお、受験票等が2017年2月17日(金)までに未着の場合は、出願した学部の入試係（上記(5)出願書類等送付先参照）へ連絡してください。

4 . 選抜方法

各学部で実施する個別学力検査等と面接の結果及び提出された書類並びに日本留学試験の成績により、合否判定基準に基づき判定します。

なお、医学部看護学科においては、TOEFL の成績を判定に利用します。

【個別学力検査等】

学部・学科等			筆記試験等			面接	
法文学部	人文社会学科「昼間主コース」					○	
教育学部	学校教育教員養成課程	初等教育コース	幼年教育サブコース	〔国語・数学・理科から1教科選択〕	国語	国語総合・現代文B・古典B	×
					数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B	
					理科	物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物, 地学基礎・地学 から1	
		小論文					
		小学校サブコース	〔国語・数学・理科・実技検査から1教科選択〕	国語	国語総合・現代文B・古典B		
				数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B		
	理科			物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物, 地学基礎・地学 から1			
	小論文						
	中等教育コース	言語・社会教育系	国語教育専攻 社会科教育専攻 英語教育専攻	〔国語・外国語から1教科選択〕	国語	国語総合・現代文B・古典B	
					外国語	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	
		小論文					
	自然科学系	数学教育専攻 理科教育専攻 技術教育専攻	〔数学・理科から1教科選択〕	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B		
				理科	物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物, 地学基礎・地学 から1		
	小論文						
芸術・生活健康系	音楽教育専攻	実技検査(音楽実技)					
		小論文					
	美術教育専攻	実技検査(美術実技)					
		小論文					
保健体育専攻	実技検査(体育実技)						
	小論文						
家政教育専攻	〔国語・数学から1教科選択〕	国語	国語総合・現代文B・古典B				
		数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B				
小論文							
特別支援教育教員養成課程		〔国語・数学から1教科選択〕	国語	国語総合・現代文B・古典B			
			数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B			
小論文							
理学部	数学科	日本語による口頭試問			○		
	物理学科						
	化学科						
	生物学科						
	地球科学科						
医学部	医学科	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B	○			
		理科	物理基礎・物理, 化学基礎・化学				
		外国語	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ				
	看護学科	小論文, グループディスカッション					

学部・学科等			筆記試験等	面接
工学部	機械工学科		/	○
	電気電子工学科			
	環境建設 工学科	土木工学コース		
		社会デザインコース		
	機能材料工学科			
	応用化学科			
	情報工学科			
農学部	食料生産学科		日本語による口頭試問	○
	生命機能学科			
	生物環境学科			

備考1 日本留学試験は、下記の利用出題教科・科目を受験すること。

2 医学部看護学科は、上記1に加えてTOEFLを受験すること。

【日本留学試験利用出題教科・科目等】

学部・学科等	日本語	総合 科目	数 学	理 科				備考	出題 言語	成績 利用
				物理	化学	生物	科目選択			
法文学部	○	○	コース1	/					日本語	2016年 6月 又は 11月
教育学部	○	○	コース1又は コース2を選択	△	△	△	物理,化学,生物か ら2科目選択	総合科目又は理 科を選択		
理 学 部	数学科	○	コース2	△	△	△	物理,化学,生物か ら2科目選択			
	物理学科	○	コース2	△	△	△				
	化学科	○	コース2	△	△	△				
	生物学科	○	コース1又は コース2を選択	△	△	△				
	地球科学科	○	コース1又は コース2を選択	△	△	△				
医 学 部	医学科	○	コース2	○	○	/	物理及び化学	総合科目又は理 科を選択		
	看護学科	○	コース1	/	○	○	化学及び生物			
工学部	○	/	コース2	○	○	/	物理及び化学			
農学部	○	/	コース1又は コース2を選択	△	△	△	物理,化学,生物か ら2科目選択			

備考 △は、理科において選択できる科目を示します。

【教育学部の実技検査内容】

学校教育教員養成課程 初等教育コース 小学校サブコース
音楽実技を選択した者

検 査 内 容
1. 音楽理論 音楽に関する筆記試験（楽典、音感に関する問題を含む。） 2. 選択実技 下記の①～③の中から1つ選択する。 ① 任意の独唱曲（日本の伝統的な歌唱による曲を含む。）を原語及び暗譜で演奏する。アリアの場合は原調で歌うこととする。また、歌曲、アリアはピアノ伴奏とし、願書に添えて伴奏譜を提出する。 ② 任意の独奏曲（箏、三味線、尺八等の日本の伝統的な楽器のための曲を含む。）を暗譜で演奏する。ピアノ以外の独奏曲は、無伴奏で演奏する。なお、ピアノ以外の楽器を使用する場合は各自で準備する。ただし、試験室に受験者本人が一人で持ち込める楽器に限る。 ③ 小学校・中学校の音楽の教科書や教材曲集等に掲載されている任意の歌唱教材（合唱曲を含む。）を弾き歌いで演奏する。楽譜をみてもよい。合唱曲は任意のパートもしくは主旋律を歌う。

注1 選択実技の任意の独唱曲及び独奏曲は自作曲も可とする。ただし、弾き歌い、又は無伴奏で演奏することとし、願書に添えて楽譜を提出する。

注2 受験者は上履きを持参すること。

学校教育教員養成課程 初等教育コース 小学校サブコース
美術実技を選択した者

検 査 内 容
小学校図画工作科の授業で児童に示す事例作品の制作

注1 「A表現」の絵、立体、工作の中から出題する。
 注2 必要な材料、用具は本学で準備する。

学校教育教員養成課程 初等教育コース 小学校サブコース
体育実技を選択した者

検 査 内 容
基礎実技 器械運動，陸上運動，ボール運動の3領域

注 受験者は、次のものを持参すること。
 ・運動に適する服装 ・屋内用シューズ（*実技検査は体育館で実施する。）

学校教育教員養成課程 中等教育コース 音楽教育専攻

検 査 内 容
1. 音楽理論 音楽に関する筆記試験（楽典、音感に関する問題、創作、論述問題を含む。） 2. ピアノ 任意のピアノ曲を暗譜で演奏する。 3. 弾き歌い 中学校・高等学校の音楽の教科書や教材曲集等に掲載されている任意の歌唱教材（合唱曲を含む。）を弾き歌いで演奏する。楽譜をみてもよい。合唱曲は任意のパートもしくは主旋律を歌う。 4. 選択実技 下記の①②のどちらかを選択する。 ① 任意の独唱曲（日本の伝統的な歌唱による曲を含む。）を原語及び暗譜で演奏する。アリアの場合は原調で歌うこととする。また、歌曲、アリアはピアノ伴奏とし、願書に添えて伴奏譜を提出する。 ② 任意の独奏曲（箏、三味線、尺八等の日本の伝統的な楽器のための曲を含む。）を暗譜で演奏する。ピアノの独奏曲は、2と異なる曲とする。ピアノ以外の独奏曲は、無伴奏で演奏する。なお、ピアノ以外の楽器を使用する場合は各自で準備する。ただし、試験室に受験者本人が一人で持ち込める楽器に限る。

注1 選択実技の任意の独唱曲及び独奏曲は自作曲も可とする。ただし、弾き歌い、又は無伴奏で演奏することとし、願書に添えて楽譜を提出する。
 注2 上記の試験は、入学後における研究分野と関連するものではなく、卒業研究分野は、演奏（声楽・ピアノ・管楽器）、作品発表、論文の中から選択することとする。
 注3 受験者は上履きを持参すること。

学校教育教員養成課程 中等教育コース 美術教育専攻

検 査 内 容
鉛筆による静物デッサン

注1 描画材料（鉛筆、消しゴム他）は、各自持参すること。
 注2 カルトン、画用紙（四つ切りサイズを使用する。）は、本学で準備する。

学校教育教員養成課程 中等教育コース 保健体育専攻

検 査 内 容
1. 共通実技 体づくり運動 2. 選択実技 A) 陸上運動，器械運動から1種目を選択 B) バスケットボール，バレーボール，サッカーから1種目を選択

注 受験者は、次のものを持参すること。
 ・運動に適する服装 ・屋内用シューズ（*実技検査は体育館で実施する。）

5 . 個別学力検査等の配点

法文学部

学科等	教科等	面接	日本留学試験			計
			日本語	総合科目	数学	
					コース1	
人文社会学科 「昼間主コース」		*	450	200	200	850

注 *は、点数化しないことを示す。

教育学部

課程等	教科等	国語	数学	理科	外国語	実技	小論文	日本留学試験				計			
								日本語	総合科目	数学	理科				
											2科目選択				
学校教育教員養成課程	初等教育コース	幼年教育サブコース	(200)	(200)	(200)	-	-	200	450	(200)	200	(200)	1250		
		小学校サブコース	(200)	(200)	(200)	-	(200)	200	450	(200)	200	(200)	1250		
	中等教育コース	言語・社会教育系	国語教育専攻	(200)	-	-	(200)	-	100	450	(200)	200	(200)	1150	
			社会科教育専攻												
			英語教育専攻												
	中等教育コース	自然科学系	数学教育専攻	-	(300)	(300)	-	-	100	450	(200)	200	(200)	1250	
			理科教育専攻												
			技術教育専攻												
	中等教育コース	芸術・生活健康系	音楽教育専攻	-	-	-	-	-	500	100	450	(200)	200	(200)	1450
			美術教育専攻	-	-	-	-	-	500	100	450	(200)	200	(200)	1450
			保健体育専攻	-	-	-	-	-	500	100	450	(200)	200	(200)	1450
			家政教育専攻	(200)	(200)	-	-	-	-	100	450	(200)	200	(200)	1150
	特別支援教育教員養成課程		(200)	(200)	-	-	-	-	200	450	(200)	200	(200)	1250	

注 () は、選択科目の配点を示す。

理学部

学科	教科等	面接 (口頭試問を含む。)	日本留学試験			計
			日本語	数学	理科	
					2科目選択	
数学科		200	400	200	200	1000
物理学科		200	400	200	200	1000
化学科		200	400	200	200	1000
生物学科		200	400	200	200	1000
地球科学科		200	400	200	200	1000

注 日本語の試験は、450点満点を400点満点に換算する。

医学部

学科	教科等	数学	理科	外国語	小論文	面接	グループ ディスカッション	日本留学試験				TOEFL	計
								日本語	総合科目	数学	理科		
医学科		200	200	200	-	100	-	400	(200)	200	(200)	-	1500
看護学科		-	-	-	100	200		400	(200)	200	(200)	100	1200

注1 日本語の試験は、450点満点を400点満点に換算する。

注2 () は、選択科目の配点を示す。

注3 看護学科の面接・グループディスカッションは合計の配点を示す。

工学部

学科等	教科等	面接	日本留学試験			計
			日本語	数学	理科	
				コース2	物理・化学	
機 械 工 学 科		100	450	200	200	950
電 気 電 子 工 学 科		100	450	200	200	950
環境建設工学科	土木工学コース	100	450	200	200	950
	社会デザインコース	100	450	200	200	950
機 能 材 料 工 学 科		100	450	200	200	950
応 用 化 学 科		100	450	200	200	950
情 報 工 学 科		100	450	200	200	950

農学部

学科	教科等	面接 (口頭試問を含む。)	日本留学試験			計
			日本語	数学	理科	
					2科目選択	
食料生産学科		400	200	200	200	1000
生命機能学科		400	200	200	200	1000
生物環境学科		400	200	200	200	1000

注 日本語の試験は、450点満点を200点満点に換算する。

6 . 個別学力検査等の採点・評価基準及び正解・解答例又は出題意図の開示時期

教育学部及び医学部医学科の筆記試験

教科	採点・評価基準（一般的基準）	正解・解答例又は出題意図の開示時期及び開示方法
数学	<p>教育学部（学校教育教員養成課程中等教育コース自然科学系を除く。）は、数学Ⅰ・数学Ⅱ及び数学A・数学B、また、教育学部学校教育教員養成課程中等教育コース自然科学系、医学部は、前記に加えて数学Ⅲの理解度が採点・評価の対象となる。</p> <p>数学の基礎をなす諸概念を的確に把握し、応用することができるかを問うとともに、広く数学についての理解力、論理的思考力、計算力、記述力を総合的に評価する。</p>	<p>2017年3月7日(火) 午前10時</p> <p>開示方法は、受験した学部の入試係へ問い合わせてください。</p>
物理	<p>物理基礎・物理の基礎学力の達成度が採点・評価の対象となる。</p> <p>自然現象、実験や観測などにおける物理現象、物理法則の理解度を問う出題を通じて、物理学に対する理解力、論理的思考力、推理力、記述力を総合的に評価する。</p>	
化学	<p>化学基礎・化学の基礎学力の達成度が採点・評価の対象となる。</p> <p>観察や実験に基づいて化学的な諸現象を理解する力、化学の基礎的な諸法則の理解度及び諸法則をもとに正しい結論を導く力を問うとともに、化学に対する論理的思考力、推理力、記述力を総合的に評価する。</p>	
生物	<p>生物基礎・生物の基礎学力の達成度が採点・評価の対象となる。</p> <p>生物や生物現象の特徴は、多くの要因が関与していて複雑であり、しかも、それらが有機的関連を持っていることである。このような生物の仕組みや働きについての基本的概念や原理・法則が理解できているかを問うとともに、それらを分析的並びに総合的に考察する能力が養われているかを評価する。</p>	
地学	<p>地学基礎・地学の基礎学力の達成度が採点・評価の対象となる。</p> <p>地学全般にわたる基礎知識、地球環境や身近な自然に対する観察力、自然現象から本質的な情報を取り出し考察する能力等を重要視するとともに、理解力、論理的思考力、推理力、記述力を総合的に評価する。</p>	

法文学部

学科等	教科等	採点・評価基準（一般的基準）
人文社会学科 「昼間主コース」	面接	目的意識を中心に、自主性、積極性、表現力などを総合的に評価する。
	成績証明書	学業能力判定の参考とする。

教育学部

学 科・課程等		教科等	採点・評価基準（一般的基準）	正解・解答例又は出題意図の開示時期及び開示方法		
教育学部共通		国語	高等学校学習指導要領国語に示された内容に基づき、人間活動の基盤となる言語による思考・認識の能力を評価する。 具体的には、近代以降の文章や古典の文章をもとに、文字力・語彙力・文法力など言語にかかわる力、思考力・想像力・認識力など読解力にかかわる力、さらに、それらの力の表出を通して捉えられる表現する力などを総合的に評価する。	2017年3月7日(火) 午前10時 開示方法は、教育学部入試係へ問い合わせてください。		
		小論文	学校教育に関する諸問題への関心、教員として社会に貢献する意欲、思考力・判断力・表現力など総合的に評価する。			
		成績証明書	在学中の修学状況の確認資料とする。			
学校 教育 教員 養成 課程	初等 教育 コース	小学校サブコース		/		
		音楽実技	音楽性(表現力, 創造力, 構築性), 理論性を評価する。			
		美術実技	児童に示す事例作品としての妥当性について評価する。			
		体育実技	基礎的運動技能について評価する。			
	中等 教育 コース	言語・社会 教育系	国語教育専攻 社会科教育専攻 英語教育専攻	外国語	英語読解能力と英語表現能力(文章構成能力や論理的思考能力を含む。)を中心とした, 大学での勉学において必要とされる英語コミュニケーション能力を総合的に評価する。	2017年3月7日(火) 午前10時 開示方法は、教育学部入試係へ問い合わせてください。
		芸術・生活 健康系	音楽教育専攻	音楽実技	音楽性(表現力, 創造力, 構築性), 理論性を評価する。	
美術教育専攻			美術実技	造形的な表現力について評価する。		
	保健体育専攻	体育実技	基礎的運動能力及び種目別運動技能について評価する。	/		

理学部

学科	教科等	採点・評価基準(一般的基準)
数 学 科 物 理 学 科 化 学 科 生 物 学 科 地 球 科 学 科	面接 (口頭試問を含む。)	目的意識, 勉学意欲, 基礎的知識, 理解力, 表現力などについて総合的に評価する。
	成績証明書	面接時の参考資料とし, 面接に含めて評価する。

医学部

学科	教科等	採点・評価基準(一般的基準)	正解・解答例又は出題意図の開示時期及び開示方法
医 学 科	外国語	「英語」は, コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰを出題範囲とし, 総合的学力の達成度を採点・評価する。	2017年3月7日(火) 午前10時 開示方法は, 医学部入試係へ問い合わせてください。
	面接	面接時の態度や質問に対する応答を通して, 医学を学ぼうとする目的意識や勉学意欲, 自己認識, 協調性, 社会性などを総合的に判断して採点・評価する。	/
	成績証明書	面接の際に参考とする。	
看 護 学 科	小論文	文章の理解力と, 文章の内容をもとにして自分の考えをまとめ表現する能力などを総合的に採点・評価する。	
	面接	面接時の態度や質問に対する応答を通して, 看護学を学ぼうとする目的意識や勉学意欲, 自己認識, 協調性, 社会性などを総合的に判断して採点・評価する。日本語の会話力及び理解力についても採点・評価する。	/
	グループ ディスカッション	議論や議論中の態度から, 個人面接の評価項目に加え, 対人関係能力, 状況判断能力などを総合的に判断して採点・評価する。	
	成績証明書	面接の際に参考とする。	

工学部

学科	教科等	採点・評価基準(一般的基準)
機 械 工 学 科 電 気 電 子 工 学 科 環 境 建 設 工 学 科 土 木 工 学 コース 社 会 デ ザ イン コース 機 能 材 料 工 学 科 応 用 化 学 科 情 報 工 学 科	面接	目的意識, 勉学意欲, 基礎的知識, 自己表現力などについて総合的に評価する。
	成績証明書	面接時の参考資料とする。

農学部

学科	教科等	採点・評価基準(一般的基準)
食 料 生 産 学 科 生 命 機 能 学 科 生 物 環 境 学 科	面接 (口頭試問を含む。)	日本語コミュニケーション能力, 勉学意欲・主体性, 一般的な基礎知識及び本人が履修した専門的知識について評価する。
	成績証明書	面接における口頭試問(本人が履修した知識)の参考資料とし, 面接に含めて評価する。

7. 合否判定基準

[○印が当該事項に該当することを示す。]

事 項		合否判定基準	
		総合点で合否を判定する。	原則として総合点で合否を判定するが、ある科目の成績が水準以下の場合、総合点の如何にかかわらず不合格となることがある。
学部等			
法文学部			○注1
教育学部			○
理学部		○	
医学部	医学科	○	
	看護学科		○注2
工学部		○	
農学部			○

注1 面接の評価が著しく低い場合は、総合点の順位に関わらず合否を検討することがある。

注2 面接・グループディスカッションの評価が著しく低い場合は、総合点の順位に関わらず合否を検討することがある。

8. 試験日時及び試験場

(1) 試験日時

学部	試験日時
法文学部	2017年2月25日(土) 9時～
教育学部	2017年2月25日(土) 9時～
理学部	2017年2月25日(土) 9時～
医学部	2017年2月25日(土) 9時～2月26日(日)
工学部	2017年2月25日(土) 15時～
農学部	2017年2月25日(土) 9時～

注 試験当日は、「本学の受験票」及び「2016年(6月又は11月実施分)日本留学試験受験票」を必ず持参してください。

(2) 試験場

出願学部で実施します。詳細については、受験票送付の際に通知します。

9. 合格者発表

2017年3月7日(火) 午前10時

1) 受験者全員に合否結果を送付するとともに、合格者については当該学部掲示場に受験番号で発表します。

2) 愛媛大学ホームページに合格者番号を掲載します。(午前10時30分頃)

ただし、ホームページ上での発表は、参考として閲覧の上、必ず上記1)の合格者発表により確認してください。(https://www.ehime-u.ac.jp/)

注 電話等による合否結果の照会には一切応じません。また、試験当日等に大学周辺で行われている合否電報等の受付については、本学と一切関係ありません。

10. 入学手続及び初年度の諸経費等

(1) 入学手続期間

合格者は、下記の期間内に持参又は郵送により入学手続を行ってください。詳細については、合格通知の際にお知らせします。

入学手続期間	2017年3月10日(金)～3月21日(火) 必着 なお、持参する場合は、土曜日、日曜日、祝日を除く毎日午前9時から午後5時までとし、郵送の場合も3月21日(火)までに必着とします。
--------	--

(2) 必要書類等

宣誓書、保証書、学生記録、学生証写真票、2017年度愛媛大学受験票、2016年(6月又は11月実施分)日本留学試験受験票、写真3枚(縦4cm×横3cmのもの)、入学料、授業料及びその他の経費(初年度の諸経費を参照)、学費・生活費の支弁方法を証明する書類、身元保証書、住民票の写し(日本国内在住の者)

(3) 注意事項

合格者は、入学手続期間内に入学手続を完了しない場合には、入学辞退者として取り扱います。

また、入学手続に際しては、生活指導等を引き受ける身元保証人〔日本国内在住の者(外国人を含む)〕が必要となりますので、あらかじめ学費・生活費の支弁方法を証明する書類等と併せて準備しておいてください。

(4) 初年度の諸経費

初年度に必要な経費は、おおむね次のとおりです。

学部	入学料	授業料	その他の経費	計
法文学部	282,000 円	年額 535,800 円 〔前期分 267,900 円〕	28,060 円	845,860 円
教育学部			28,060 円	845,860 円
理学部			8,060 円	825,860 円
医学部			98,200 円 (46,770 円)	916,000 円 (864,570 円)
工学部			8,060 円	825,860 円
農学部			8,060 円	825,860 円

注1 その他の経費とは、学生教育研究災害傷害保険及び大学生協生命共済保険料等の合計金額です。(金額については、変更される場合があります。)

注2 医学部()内は、看護学科の金額を示します。

注3 入学料及び授業料の額は、2016年度納付額であり、2017年度は改定になる場合があります。

(5) 納付金の納入

① 入学料 282,000 円

納入期間 2017年3月10日(金)～3月21日(火)

② 授業料 前期分 267,900 円〔年額 535,800 円〕

注1 授業料は、入学後に納入します。なお、納入期日等については、合格通知の際にお知らせします。

注2 在学中に授業料の改定が行われた場合には、新授業料を適用します。

③ その他詳細については、合格通知の際にお知らせします。

(6) 入学の時期

2017年4月

1 1. 注意事項

(1) 障がい等を有する入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、原則として2016年12月15日(木)までに、志願学部の入試係に相談してください。

※相談は障がい等を有する志願者に本学の現状をあらかじめ知っていただき、受験及び修学にあたってより良い方法や在り方を模索するためのもので、障がい等を有する方の受験や修学を制限するものではありません。

(2) 出願書類受理後は、いかなる理由があっても、出願書類記載内容の変更は認めません。また、提出書類等の返還はしません。

(3) 出願書類等に虚偽の記載があった場合は、入学許可後であっても入学の許可を取り消すことがあります。

(4) 日本留学試験については、日本学生支援機構留学生事業部留学試験課(〒153-8503 東京都目黒区駒場4-5-29 TEL03-6407-7457)に問い合わせてください。

(5) 試験科目等の詳細については、「3 (5)出願書類等送付先」(3 ページ参照)に問い合わせてください。

(6) 出願後、住所(受信場所)が変わった場合は、速やかに志願学部の入試係に連絡してください。

(7) 保健師国家試験受験資格について

愛媛大学医学部看護学科では、2012年度入学生(3年次編入学生は2014年度入学生)から、保健師教育課程に「選択制」を導入しました。

これにより、これまでは卒業する学生全員が卒業時に「保健師国家試験受験資格」を取得してきましたが、2012年度入学生からは、この資格の取得を希望する学生のうち、3年次前期終了後に選考を受けて(編入生を含む35人程度)、所定の単位を修得した者が、卒業時に「保健師国家試験受験資格」を取得できます。

1 2. 入学試験個人成績の開示

本学では、各学部で実施する私費外国人留学生入試の個人成績を受験者本人に限って開示します。2017年度入学試験の個人成績の開示は次のとおり行いますので、希望者は期間内に申し込んでください。

ただし、志望学部学科等の個別学力検査において、1科目でも受験しなかった場合は、個人成績を開示しません。

請求者：受験者本人に限ります。(代理人は不可)

請求期間：2017年5月1日(月)～5月31日(水)

郵送による請求のみとし、この期間内の消印があるもの限り受け付けます。

請求方法：書面(記入例参照)により、2017年度愛媛大学受験票と402円分の切手を貼付し自己のあて先を明記した返信用封筒(長形3号：12cm×23.5cm)を同封して、受験した学部の入試係「3 (5)出願書類等送付先」(3 ページ参照)へ請求してください。

開示方法：当該学部に着後、2週間程度で受験者本人あてに、郵送された受験票とともに、簡易書留郵便で送付します。

(請求書面記入例)

2017年 月 日
愛媛大学〇〇学部長 殿
請求者氏名 _____
愛媛大学受験番号 _____
連絡先 — —
入学試験個人成績 開示請求書
2017年度の私費外国人留学生入試の個別学力検査等個人成績を開示請求します。

1 3. 個人情報 の 取 扱 い

本学では、出願受付で取得した氏名、住所等の個人情報は、本学における出願の事務処理、出願書類等に不備があった場合の連絡、試験の実施、合格者発表、合格された場合の入学手続関係書類の送付等のために利用します。

なお、出願書類等に不備があった場合には、その訂正・補完を迅速に行っていただくために、本学を受験されること及び提出した出願書類等に不備があることを、保護者等又は所属学校に通知する場合があります。

また、本選抜に係る個人情報は、合格者の入学後の教務関係(学籍、修学指導等)、学生支援関係(健康管理、奨学金申請等)、授業料等に関する業務及び調査・研究(入試の改善や志願動向の調査・分析等)を行う目的をもって本学が管理します。他の目的での利用及び本学の関係教職員以外への提供は行いません。

1 4. 学生募集要項(出願書類等を含む。)の請求方法

(1) 大学の窓口で請求する場合

各学部入試係又は教育学生支援部入試課で配付します。(下記「学生募集要項配付場所」参照)

(2) 郵送で請求する場合

請求する封筒に「私費外国人留学生募集要項請求」と朱書きし、205円分の切手を貼った角形2号(33cm×24cm)の返信用封筒(郵便番号、日本国内の住所、氏名を明記)を同封の上、各学部入試係又は教育学生支援部入試課あてに申し込んでください。(下記「学生募集要項配付場所」参照)

(3) FAX又はEメールで請求する場合

自己のあて先(郵便番号、住所、氏名、電話番号)、「私費外国人留学生募集要項請求」、請求部数、着払い希望と明記し、教育学生支援部入試課まで申し込んでください。宅配便の着払いで送付します。なお、宅配便の着払いによる日本国外への送付はできません。

【請求先】

愛媛大学教育学生支援部入試課

FAX : 089-927-9180

E-mail : nyushika@stu.ehime-u.ac.jp

学生募集要項配付場所			電話
〒790-8577	松山市文京町3番	教育学生支援部入試課	089-927-9173
〒790-8577	松山市文京町3番	法文学部入試係	089-927-9221
〒790-8577	松山市文京町3番	教育学部入試係	089-927-9377
〒790-8577	松山市文京町3番	理学部入試係	089-927-9546
〒791-0295	東温市志津川	医学部入試係	089-960-5175
〒790-8577	松山市文京町3番	工学部入試係	089-927-9697
〒790-8566	松山市樽味3丁目5番7号	農学部入試係	089-946-9648

◎大学のホームページに、資料請求方法を掲載しています。

詳しくは、愛媛大学ホームページ (<https://www.ehime-u.ac.jp/>) の『資料請求』をご覧ください。